

## 除染方法について

### 除染基準

地表から1メートルの高さの放射線量が一時間あたり0.23マイクロシーベルト以上の場合

### 除染作業の手順・方法

① 落葉・苔・泥などを除去する。



再度放射線量測定を行い、除染効果を確認します。

② 除染効果が見られない場合、水での洗浄が可能な対象物については放水による洗浄を行います。

高压洗浄は有効的ではありますが、周辺への飛散に注意してください。

庭等の土壌については、表層の1cm～5cmの土壌をそぎ取れば、放射線量が大幅に低減されます。

シャベル等で表層を1cm～5cmを段階的削り、その都度測定して経過をみてください。

除染作業は基本的に高所から低所の順番で行います。

除去した土等については、自身の敷地内で、遮水効果があり、耐久性があるものに入れ、地中に埋めてください。穴の深さの目安は、30cm以上埋め戻した土を被られるくらいにしてください。

埋め戻し終わったら、必ずその場所の線量を測定し、基準値以内であることを確かめます。また、埋め戻した場所は、必ず記録をして、場所を特定できるようにしてください。

埋め戻しができない場合は、容器に入れて、敷地内の人が立ち入らない場所に保管してください。

## 除染時の注意事項等

### 服装

長靴、軍手、ゴム手袋、長袖、長ズボン、帽子、マスク、タオル等を着用します。水を使用する場合には雨合羽やゴーグル等着用してください。



#### 通常の場合

長靴、軍手、ゴム手袋、長袖、長ズボン、帽子、マスク、タオル等



#### 水を扱う作業

通常の場合の服装

+  
カッパ、ゴーグル（めがね）

福島県災害対策本部発行「生活空間における放射線量低減化対策に係る手引き」から抜粋

除染後、手洗い、うがいなどを行い、シャワーを浴びて汚れを落とします。

手袋、マスク、タワシ、雑巾などの使い捨てのものは、一般廃棄物として、適正に処理をします。

その他の用具類は、使用后良く洗います。

作業に使用した衣服等は、洗濯をして再使用することが可能です。